



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月7日

上場会社名 株式会社スペースマーケット 上場取引所 東
 コード番号 4487 URL <https://spacemarket.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 重松 大輔
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 徳光 悠太（TEL）050（1744）9969
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第1四半期の業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	263	2.7	7	△88.1	11	△82.0	9	△81.3
2020年12月期第1四半期	256	ー	61	ー	61	ー	50	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	0.80	0.78
2020年12月期第1四半期	4.50	4.15

（注）当社は2019年12月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	1,249	767	61.4
2020年12月期	1,354	748	55.2

（参考）自己資本 2021年12月期第1四半期 767百万円 2020年12月期 748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2021年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2021年12月期（予想）	ー	0.00	ー	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年12月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が引き続き不透明な状況にあることから、現段階では合理的な業績予想の算定を行うことが困難な状況であります。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表します。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 1 Q	11,824,000株	2020年12月期	11,710,900株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	75株	2020年12月期	75株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 1 Q	11,739,510株	2020年12月期 1 Q	11,214,618株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大を受けて、首都圏や関西圏等11都府県を対象に緊急事態宣言が再度発令され、解除後も個人消費や企業活動が制限されるなど、依然として厳しい経済環境が続く、先行きの不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く環境としては、緊急事態宣言の発令や新型コロナウイルス感染症感染者数の増減等、日々変化のある世の中の状況に応じて、感染を広げないための行動が求められ、今もなお新型コロナウイルス感染症の影響を受けた経済環境下にあります。

このような状況の中、当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による旅行や出張の減少に伴い、宿泊施設の利用が減少していることを受け、テレワークに適したホテルスペースを紹介する「ホテルテレワークキャンペーン」を打ち出しました。他にも、飲食店の支援・テレワークの推進を目的に、自治体と事業連携協定を締結して飲食店の掲載やスペースの利用を訴求し、営業時間外等の飲食店の遊休スペースの収益化及び就労者へ利便性の高いワークスペースの提供を実現しました。

また、働く環境の感染症対策が求められる中で企業向けに、オフィスの人口密度引き下げを目的とした分散型オフィスの開設支援を行いました。

さらには、多様な種類のスペースと多目的な利用の増加を受けて、目的に合わせたスペースを手軽に探しやすくするために「スペースマーケット」のトップページデザインのリニューアルを、また、新型コロナウイルス感染症による影響に鑑み、スペースごとに講じられている感染症対策内容の検索利便性を向上させるプロダクトのアップデートを行っております。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、プラットフォームのGMVはコロナ前の水準に向けて回復傾向にあり、法人向けソリューションでは多くの大型イベントをプロデュースしたことから、受託案件にかかる売上原価が増加しましたが、適切なコストコントロールにより大型マーケティング投資を抑制したことで、当第1四半期累計期間は黒字となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は263,711千円（前年同期比2.7%増）、営業利益は7,352千円（前年同期比88.1%減）、経常利益は11,065千円（前年同期比82.0%減）、四半期純利益は9,444千円（前年同期比81.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,140,286千円となり、前事業年度末に比べ168,282千円減少いたしました。これは主に、季節的要因によりスペース利用が増加する12月と比較し、相対的に3月のスペース利用が減少したことに伴い未収入金が増加したこと及び借入金の返済により現金及び預金が増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は109,307千円となり、前事業年度末に比べ63,017千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアを計上したことに伴い無形固定資産が増加したこと及び新オフィスの契約に伴い敷金が増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は425,585千円となり、前事業年度末に比べ115,508千円減少いたしました。これは主に、季節的要因によりスペース利用が増加する12月と比較し、相対的に3月のスペース利用が減少したことに伴う掲載ホストへの未払金の減少及び1年内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は56,321千円となり、前事業年度末に比べ9,029千円減少いたしました。これは主に、長期借入金を返済したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は767,687千円となり、前事業年度末に比べ19,271千円増加いたしました。これは主に、ストック・オプションの権利行使に伴い株主資本が増加したこと及び当第1四半期会計期間に四半期純利益を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想については、引き続き、現段階において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	776,341	682,693
売掛金	45,275	23,308
仕掛品	124	—
未収入金	466,181	421,296
その他	20,719	13,091
貸倒引当金	△73	△103
流動資産合計	1,308,569	1,140,286
固定資産		
有形固定資産	1,568	6,645
無形固定資産	37,725	50,013
投資その他の資産	6,996	52,648
固定資産合計	46,289	109,307
資産合計	1,354,859	1,249,593
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,929	30,279
1年内返済予定の長期借入金	75,448	35,448
未払金	324,916	235,007
未払法人税等	1,110	3,758
預り金	72,039	74,395
ポイント引当金	15,609	12,481
その他	18,040	34,214
流動負債合計	541,093	425,585
固定負債		
長期借入金	65,350	56,321
固定負債合計	65,350	56,321
負債合計	606,443	481,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,998	253,922
資本剰余金	600,588	605,513
利益剰余金	△101,205	△91,761
自己株式	△61	△61
株主資本合計	748,320	767,613
新株予約権	94	73
純資産合計	748,415	767,687
負債純資産合計	1,354,859	1,249,593

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	256,824	263,711
売上原価	67,203	100,602
売上総利益	189,620	163,109
販売費及び一般管理費	128,002	155,757
営業利益	61,618	7,352
営業外収益		
受取利息	3	4
補助金収入	—	3,909
その他	2	2
営業外収益合計	5	3,917
営業外費用		
支払利息	131	204
営業外費用合計	131	204
経常利益	61,492	11,065
税引前四半期純利益	61,492	11,065
法人税、住民税及び事業税	5,797	1,621
法人税等調整額	5,211	—
法人税等合計	11,009	1,621
四半期純利益	50,483	9,444

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、スペースマーケット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期やそのほかの状況の経過により影響が変化した場合には、当社の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。